

婚約指輪のオーダー方法



婚約指輪は中心に大きいダイヤのついた「ソリテール」と呼ばれる形がデザインの基本形で

- 1、中石(センターストーン)
- 2、石座(シャトン)
- 2、腕(アーム)

の3つから来ています。

オーダーメイドの場合はまず、中石の形と大きさを決めてその形にあった石座のデザインを決めます。

あとは結婚指輪のオーダーと同じ手順で決めた腕と石座と組み合わせることで無限のデザインを生み出すことができ、中石の周りに脇石を入れるとさらに華やかな印象になります。

中石はこちらでご用意、お客様のお持ち込みのどちらでも制作可能です。

婚約指輪のオーダー方法について [> VIEW MORE](#)

指輪の制作方法



指輪の制作方法は4つあります。

- 1、鍛造
- 2、WAX原型/ 鑄造
- 3、シルバー原型/ 鑄造
- 4、CAD原型/ 鑄造

の4つです。

4つの制作技法それぞれを使って4つの基本デザイン、スタンダード、ツイスト、ヒストリカル、パターンで制作の流れがわかるサンプルを作りました。

- 1、鍛造



Round(Standard)
Hammer texture
Half combination

上下の文を繋げてスペースなくす

スペース開ける

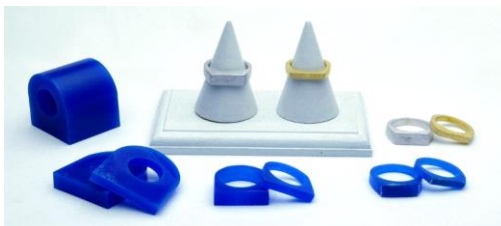
改行

⑥ ()とフリガナ

鍛造(たんぞう)とは貴金属の地金を直接加工する紀元前からある伝統的な指輪の作り方です。手作りや一品物製作とも呼ばれ、コンビリングなどはこの方法で作ります。

写真は基本デザイン スタンダードのラウンドに同じ素材を使った「交換」をテーマにして色の違う地金板を半分ずつ取り替えて作りました。

2、WAX原型/ 鑄造



Signet(Historical)
Fingerprint

WAX原型/鑄造(ちゅうぞう)はWAXと呼ばれるロウソク状の塊を削って指輪の原型をつくり、石膏で型を取り、溶かした貴金属を流して指輪にします。型を取るのので原型を作った後に好きな素材を選ぶことができます。

()とフリガナ

写真は基本デザイン ヒストリカル シグネットリングをベースに同じWAXの塊から削り出した印台リングの正面に「指紋」という世界に2つとない模様を入れました。

太字

3、シルバー原型/ 鑄造



180degrees-1 & 2 (Twist)

シルバーなど比較的安価な金属で原型を作り、(写真はシルバーと真鍮も使っています。)ゴムで型をとり、そこからWAXパターンを取り出して鑄造します。

鍛造とWAX原型/鑄造を合わせた作り方で試着や原型チェックをすることができます。

基本デザイン ツイストの180degrees をベースにシルバーと真鍮で捻る距離(幅)を変えた「メビウスの輪」の原型を作りました。2本の指輪を溶接して無限大(∞)マークにしてからゴムの型を取り、同じ素材で鑄造したあとに分割して仕上げました。

太字

↗